

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500316
事業所名	グループホーム笑顔の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 取組では挨拶を交わし合い、週に数回の長材買い出しは利用者も同行しており、美容院や洋服屋も馴染みの処を利用して地域と親しんでいます。会員となっている春日井市介護保険居宅・施設事業者連絡会からもeメールで情報を得るほか、区長からも都度案内が届いており、先日は下条公園の夏まつりに利用者2名が花火を堪能しています。管理者が留守番役を買ってでて番番が付き添いをするとの工夫を計り、地域の皆さんからドリンクもいただいて、しばし夏の宵に寛ぐことができます。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 区長には「地域情報を是非」と働きかけて情報交換の場としているも、一方で身体拘束排除を通じた事業所理解についても進めています。2ヶ月に1度所内で身体拘束適正化委員会を開催したうえで、そこで話し合った内容を運営推進会議に持ち込み、地域包括支援センターからは「ケースバイケースの知恵」を、区長からは苦労を分かち合う言葉を、また家族からは「それぞれの想い」を発信してもらうことで、事業所への理解を高めています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 2ヶ月に1回開催される運営推進会議には春日井市の代わりに地域包括支援センター職員が毎回出席くださっています。事業所としても経験豊かな地域包括支援センター職員に助言や事例をきける貴重な場として位置づけ、イレギュラーな案件などの解決を図っています。また春日井市直轄ではないものの、春日井市介護保険居宅・施設事業者連絡会では地域の事業所とココの関係を築くことにも結ばれています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族が面会に訪れた機会を活用して、係るメンバーが集合しての臨機なサービス担当者会議が重ねておこなわれています。「足腰の状態を維持してほしい」「認知症が進まないようにとの家族の気持ちを受けてとめることにつながり、良好な関係づくりに突っ込んでいます。また利用者の要望や言動における気づきは申し送りノートに記載されるとともに、介護計画書に基づく生活チェック表が確かな実践と適正な評価に叶うものとして機能しています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		評価	○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎